

随想

第80巻記念号にあたり



小澤正俊*

特殊鋼の技術誌として歴史のある「電気製鋼」が、第80巻を発行することに対してお慶び申し上げるとともに、これまでの諸先輩のご努力に対して心から敬意を表したいと思います。

「電気製鋼」は、(株)大同電気製鋼所内に1924年（大正13年）に設立された電気製鋼研究会によって、特殊鋼技術の普及と研究者の研究発表の場の提供を目的に、1925年1月に創刊されました。それから80余年に渡り、学術誌として金属鉄鋼材料分野の研究者およびユーザーの皆様にご協力いただきましたことは、ひとえに皆様のご協力の賜物であり、厚く感謝するとともに、我々の誇りでもあります。

さて、昨年10月に金融危機に端を発した世界の激変がありましたが、それまでの10年間は、バブル崩壊後の平成不況からようやく抜け出し、景気拡大を果たした時期でありました。その中で、自動車、ITを始めとするさまざまな産業界で、日系企業の世界進出が加速されましたが、その背景に我が国の高い技術力があつたことは疑う余地がありません。不断の研究開発、技術革新を継続し、技術力の優位性を培ってきた結果であり、電気製鋼研究会および「電気製鋼」もその一端を担ってきたと考えております。環境が激変した現在でも、そして今後も技術革新が、特殊鋼や部材産業を支えていくものと考えています。

しかしながら、その電気製鋼研究会も、2006年に実施された税制改革、公益法人制度改正に伴い、従来の形での存続が困難になり、2008年をもってその80余年の歴史に幕を降ろすことになりました。その目的と精神を継承するため、本年から装いを新たに当社およびグループ会社を含めた技術論文誌としてスタートすることにいたします。

当社は、21世紀社会に貢献する創造的個性的な企業集団を目指し、人を活かし、技術を極め、未開の領域に挑戦し続けることを経営理念としております。新しく生まれ変わった「電気製鋼」を通じて、引き続き特殊鋼技術の普及を目指すとともに、最高の技術を追求し、フロンティア精神を実践することにより21世紀社会に貢献したいと考えます。

(February 12, 2009)

*大同特殊鋼(株)代表取締役社長